

## 有限会社COCO-LO(群馬県桐生市)

【訪問看護、デイサービス、リハビリジム等の運営】

商工会議所のイテオン

育児・介護との両立

LEADER

## 代表 雅楽川 陽子 氏



訪問看護ステーションとして創業、現在はデイサービスやリハビリジムなど、県内に7事業所を展開している有限会社COCO-LO。勤務時間に応じて、勤務形態を区分しているが、全社員が活躍する取り組みを推進し、厚生労働省が2015年に創設した「パートタイム労働者活躍推進企業表彰」の優秀賞にも輝いている。

## 全雇用形態の社員が活躍、顧客満足度も向上

## ■背景・きっかけ:

創業直後、事業の中核を担う看護師の人材確保が困難であったことから、同社では、働く側の視点に立った就業制度を整備。仕事と育児・介護の両立のための無料の託児所の設置のほか、時間単位での年次有給休暇の取得、学校行事などに参加するための特別休暇を有給休暇と別に付与するなど、様々な施策を打ち、柔軟に運用している。

## ■取組内容・効果:

同社では、勤務時間に応じて、勤務形態を正社員、準社員、パート社員、アルバイトに区分している。フルタイムで勤務する正社員、介護や育児(中学校1年の始期まで)との両立を目的に週5日、1日あたり4.5~7.5時間勤務を選択できる準社員、育児・介護以外の理由で所定労働時間より短い時間で働くパート社員、都合の良い日時に勤務するアルバイトの4形態である。雇用区分による役職や手当に実質的な差をつけず、情報も同じように共有している。個人の事情に合わせて雇用区分を柔軟に変更でき、子どもが成長して勤務時間を延ばせそうな社員には、社長面談などを経て、正社員への転換も勧めている。

2015年4月、全雇用形態のすべての社員を対象にした新しい評価シートを導入。各自が年間の目標を盛り込んだ行動計画を策定し、その目標達成に対する評価を賞与に反映させている。

そのほか、入社した全社員に先輩社員をプリセプター(指導者)としてつけ、マンツーマンで指導や相談に応じたり、キャリアアップのための外部研修受講を奨励、受講費・旅費等を会社が負担するなど、社員の声を聞きながら制度を整備している。

## ■今後の展望と課題:

各種取り組みの結果、労働環境が良く、個々の事情に合わせた働き方ができる会社との評判が広がり、応募者が増加し、優秀な人材を確保することができている。また、提供するサービスの質も向上し、顧客満足度も上昇し、売上高が増加、事業拡大にもつながっている。

同社では、「一人ひとりがライフステージに応じて、自分らしく働けるよう、常に社員の声に耳を傾け、制度や仕組みを含めて働く環境を整えていきたい」としている。



## 中小企業の実践ポイント

- 勤務時間に応じ雇用形態を分けているが、平等に評価
- 仕事と育児や介護との両立のための制度を整備し、柔軟に運用

## 【企業データ】

代表者	雅楽川 陽子	設立年	2005年	従業員数	76人(男性12人、女性64人)
本社所在地	群馬県桐生市相生町2丁目261-3	ホームページ	http://coco-lo.net/		
事業内容	訪問看護、デイサービス、リハビリジム等の運営				